

お小遣い何に使ったか、親は把握すべき？自由にさせていい？【2／2編】

親に内緒でお金を使うようになるNGな対応

——ルールや約束事などを決めるのもいいですね。

・そうですね。逆に、お小遣いを増やせないことをきちんと説明することもその家庭の価値観や経済状況を子供が知るよい機会になると思います。説明なしに、「お小遣いは〇〇円と決まっているからダメ！」と突っぱねてしまうと、子供は親に内緒でお金を使うようになります。

高校生になればアルバイトをするようになるかもしれません。また、購入したものを自宅ではなくコンビニで受け取るなど、親に内緒で子供が危うい物を買える状況が増えていきます。そうなる前にお金の使い方についてはオープンに子供と話す環境を作っておくことが大事です。小さいときからその感覚を身につけておけば、大きくなっても「そういえば、お母さんあんなこと言っていたな～」と、ふと思い出してストッパーになってくれると思います。

小さいうちからお金に対する価値観を養うことが大切

——親が口酸っぱく言っていたことは、何かの拍子に思い出しそうですね。

・お小遣いを通して金銭感覚も身に付きますし、お金の計算など算数の知識も深まります。そして何より親子の絆が深まると思います。お金の話って改めて親子で話す機会はないと思うので、小さいうちからその家庭ごとのお金に対する方針や価値観を養っていくことをおすすめします。

お小遣いは反抗期がくる前にあげ始める

——お小遣いは、何歳くらいから子供に渡すのが良いでしょうか。

・私がおすすめしているのは小学校に入るくらいの時期です。というのもそれくらいの年齢が一番親の話を聞いてくれますし、きちんと会話をする時間が取れるからです。小学校も高学年になると友達と出かける機会が増えて一緒にいる時間も短くなりますし、中学生になれば部活動などで忙しくてそんな話をする余裕もないかと思います。何より反抗期で親の話を聞いてくれないと思います。ですので、比較的親子で話す時間が多い小学校低学年の時からお小遣いを渡すのが良いと思います。